



人口1万人時代

昭和35年には13,162人



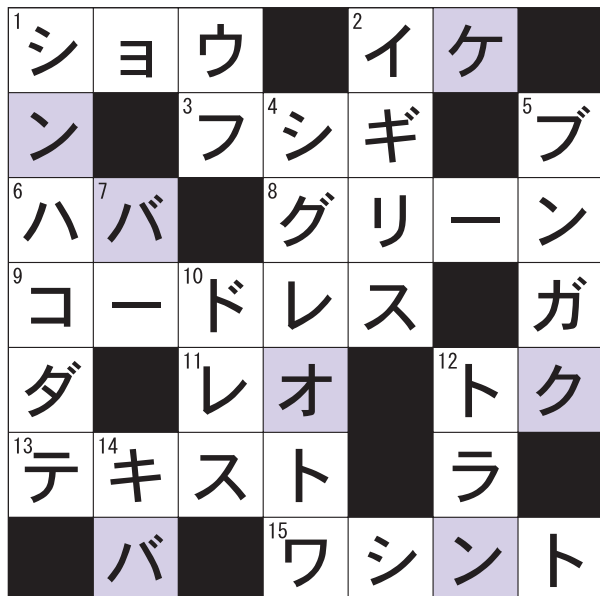
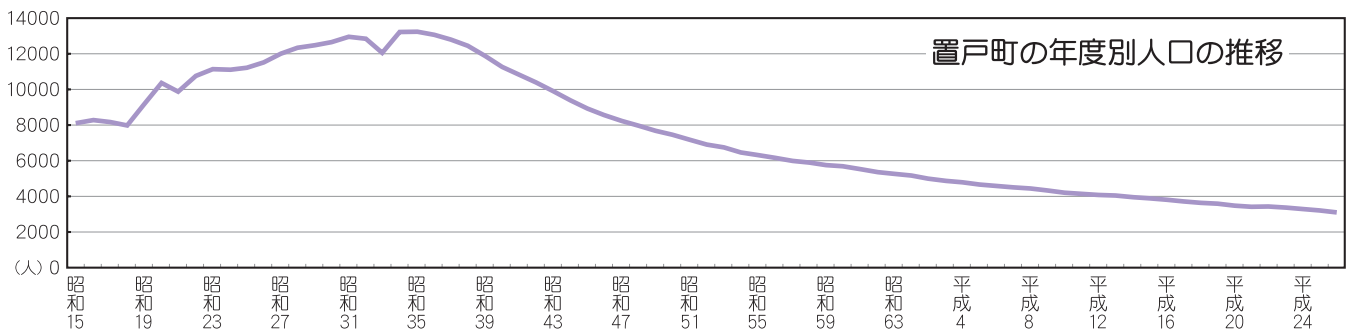
昭和34年の成人式には約150人が出席しました

終戦の昭和20年から22年と、三井木材置戸工場閉鎖の頃の同41年から42年が1万人台、1万1千人台が町制施行頃の同23年から27年と老人ホームが出来た頃の同39年から40年、1万2千人台が台風15号による風倒木発生から処理の同28年から農業構造改善事業の始まった38年までですが、この間同34年から35年の2年間のみ1万3千人を少し上回りました。同35年を頂点に置戸の人口は下降線をたどり、以降上昇に転じたことはありません。同35年は風倒木処理も終わり、世は前年から入った岩戸景気で他に職を求めて去る人もぼつぼつ出てきた頃でしたが、1万3千人になったこと自体が異常で、人力に頼る風倒木処理に全国各地から

人が集められた結果です。9千人台は同43年から44年の2年間のみ。8千人台は同45年から47年で過疎対策地域指定を受けています。次の7千人台は同48年から51年。6千人台となって少しテンポが落ちて同52年から56年、この頃は中学校統合や農協支所の廃止などがありました。

1万人台から半分になるのに15年かかりませんでした。しかも5千人台は同57年から平成元年までで、次の4千人台の同2年から13年までと減速度は落ちたとはいえ同じペースで推移し、ついに3千人台に同14年から突入して合併問題や学童・保育所統合が推進されました。

(参照『続置戸町史』)



クロスワードパズル解答

置戸の地域キャラクター

オケバンバクン

広報おけと1月号に掲載した「お正月企画クロスワードパズル」の正解は、「オケバンバクン」でした。

応募の中から正解された方全員に「オケクラフトフォーク」をプレゼントさせていただきました。

当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。